



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社 三社電機製作所  
コード番号 6882 URL <http://www.sansha.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 四方邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 佐藤光

TEL 06-6321-0321

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,929	22.6	602	481.5	581	642.8	448	97.9
23年3月期第1四半期	5,652	31.3	103	—	78	—	226	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 420百万円 (185.3%) 23年3月期第1四半期 147百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	35.48	—
23年3月期第1四半期	17.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	25,290	12,197	48.2
23年3月期	25,498	11,841	46.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 12,197百万円 23年3月期 11,841百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	14.3	1,000	51.3	1,000	62.8	650	△1.4	51.40
通期	26,500	1.3	1,800	△8.7	1,800	△3.8	1,100	△38.5	86.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	12,650,000 株	23年3月期	12,650,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	5,204 株	23年3月期	4,714 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	12,644,919 株	23年3月期1Q	12,646,365 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における経済状況は、国内では東日本大震災の影響による厳しい状況下、企業の生産活動やサプライチェーンの建て直しは当初の予想を上回るスピードで進展してまいりました。しかしながら、一方で、急速な円高進行、原発事故に起因する電力不足、原油や資源価格の高騰等、先行きの景気動向に悪影響を及ぼす懸念も一層高まってまいりました。

海外では、米国経済の減速傾向が一段と鮮明になってきたことに加えて、欧州地域では一部のユーロ加盟国の財政危機が深刻化していること、アジア地域では中国・インドの景気拡大は依然として続いているものの、インフレ抑制を目的とした政策金利の引上げ等、世界経済は総じて不安定な状態が持続いたしました。

このような状況下、当社グループは、「収益性を重視したスリムな経営体質に転換し、持続可能な成長が出来る企業に生まれ変わることを」中期経営計画の基本的戦略に掲げ、全社員が一丸となって本テーマに取り組んでまいりました。また、中期経営計画の2年目にあたる今期は、それまで実施していた人件費カットを中心とした緊急経営対策は既に解除いたしました。不採算事業や製品群の撤退・整理を継続して推進するとともに、海外における生産体制の更なる整備・拡充に注力し、生産力及び収益力のアップを図ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、期初の時点ではサプライチェーンの大混乱に伴う部材の調達難による生産遅延や減少を織り込んで業績予測を行っておりましたが、結果として、懸念していた程には大きな影響を受けることなく、ほぼ従来どおりの生産が可能となったことが大きなプラス要因となり、売上高は69億2千9百万円（前年同期比22.6%増）となりました。利益については、前期までに取り組んでまいりました収益力強化に向けた諸施策の効果が着実に現れ、営業利益は6億2百万円（前年同期比481.5%増）、経常利益は5億8千1百万円（前年同期比642.8%増）、四半期純利益は4億4千8百万円（前年同期比97.9%増）となりました。

#### [セグメント別の状況]

##### (a) 半導体事業

当事業におきましては、中国を中心としたアジア地域の旺盛な需要に支えられ、工作機械・溶接機向け産業用パワーモジュールなどを中心に受注状況は前期に引き続き堅調に推移しました。当事業ではこれまでに不採算機種種の整理や外注先を含めた生産体制の見直しを実施してまいりました。また、併行して今期は半導体製造力強化プロジェクトを既に立ち上げており、生産性向上（省人化）と設備投資（機械化）を推進してまいります。

これらの結果、当事業の売上高は24億4千1百万円（前年同期比12.0%増）、セグメント利益は1億6千4百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

##### (b) 電源機器事業

当事業におきましては、期初の時点で、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱に伴う部材調達を懸念しておりましたが、想定以上に復旧が速く、当社の生産活動への影響は軽微であったことから、デジタルシネマ用光源電源をはじめ、海外向けのプリント基板製造向けの金属表面処理用電源、自動車業界向けの溶接機などを中心に前期に引き続き堅調に推移しました。また、大型案件の海外向け銅箔処理用直流電源の出荷も順次開始し、売上金額を伸ばしました。

これらの結果、当事業の売上高は44億8千7百万円（前年同期比29.3%増）、セグメント利益は7億5千9百万円（前年同期比176.8%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ2億8百万円減少し、252億9千万円となりました。これは主に現金及び預金が7億7千1百万円増加したものの受取手形及び売掛金が9億5千万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ5億6千5百万円減少し、130億9千2百万円となりました。これは主に短期借入金が4億9千7百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ3億5千6百万円増加し、121億9千7百万円となりました。これは主に利益剰余金が3億8千5百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災により電子部品を中心としたサプライチェーンの大混乱による影響は大きく、当期の連結業績予想について前回公表時点(平成23年5月10日)では、業績の先行き見通しを予測することは極めて困難な状況でした。しかしながらその後、部品を供給頂いている被災企業様が急速な生産回復を実現されたこと等により、当社の第1四半期連結業績は期初の予測を上回って推移いたしました。一方で、急速な円高の進行や資材価格の高騰に加えて、一部の取引先においては在庫調整に伴う受注の落ち込みが顕著になってきたこと等の理由により、下期にかけての業績は予断を許さぬ状況となっております。

これらのことを踏まえ、第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想を修正いたしました。なお、業績見通しにおける為替レートは、1米ドル=80円を前提として見直しをしております。

詳細は、平成23年8月5日に別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,187	3,958
受取手形及び売掛金	8,282	7,332
商品及び製品	1,808	2,022
仕掛品	1,184	1,167
原材料及び貯蔵品	2,377	2,298
繰延税金資産	695	876
その他	949	801
貸倒引当金	△9	△13
流動資産合計	18,475	18,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,937	1,891
土地	2,665	2,665
その他（純額）	791	729
有形固定資産合計	5,394	5,286
無形固定資産		
その他	836	785
無形固定資産合計	836	785
投資その他の資産		
投資有価証券	219	216
繰延税金資産	510	478
その他	71	81
貸倒引当金	△8	△2
投資その他の資産合計	792	774
固定資産合計	7,023	6,845
資産合計	25,498	25,290

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,125	6,001
短期借入金	2,876	2,378
1年内返済予定の長期借入金	300	300
未払費用	1,309	1,354
未払法人税等	227	268
賞与引当金	—	308
その他	1,222	919
流動負債合計	12,061	11,530
固定負債		
長期借入金	900	900
退職給付引当金	160	156
未払役員退職慰労金	476	454
その他	57	50
固定負債合計	1,595	1,561
負債合計	13,657	13,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,264	2,264
資本剰余金	2,188	2,188
利益剰余金	7,752	8,137
自己株式	△3	△3
株主資本合計	12,202	12,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△4
為替換算調整勘定	△359	△386
その他の包括利益累計額合計	△361	△390
純資産合計	11,841	12,197
負債純資産合計	25,498	25,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	5,652	6,929
売上原価	4,676	5,409
売上総利益	976	1,519
販売費及び一般管理費	872	917
営業利益	103	602
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	9
受取賃貸料	5	6
デリバティブ評価益	56	30
その他	7	6
営業外収益合計	82	52
営業外費用		
支払利息	13	14
為替差損	91	55
その他	3	3
営業外費用合計	107	73
経常利益	78	581
特別利益		
退職給付制度終了益	211	—
その他	0	0
特別利益合計	211	0
特別損失		
固定資産廃棄損	0	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	23	—
その他	2	—
特別損失合計	26	0
税金等調整前四半期純利益	263	581
法人税、住民税及び事業税	42	281
法人税等調整額	△6	△148
法人税等合計	36	133
少数株主損益調整前四半期純利益	226	448
四半期純利益	226	448



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	226	448
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△28	△1
為替換算調整勘定	△50	△26
その他の包括利益合計	△79	△28
四半期包括利益	147	420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147	420
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,180	3,471	5,652	—	5,652
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,180	3,471	5,652	—	5,652
セグメント利益	141	274	416	(312)	103

(注) 1. 調整額は、報告セグメントに帰属しない本社部門の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 各セグメントに属する主要な製品

セグメント	主要製品
半導体事業	I PM (インテリジェント・パワー・モジュール)、パワートランジスタ、ダイオード、サイリスタ、トライアック
電源機器事業	直流電源、金属表面処理用電源、交流無停電電源装置、電動機制御用電源、電気炉用電源、調光装置、光源機器用電源、洗浄装置、アーク溶接機器、歯科用機器、スイッチングパワーサプライ

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,441	4,487	6,929	—	6,929
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,441	4,487	6,929	—	6,929
セグメント利益	164	759	924	(322)	602

(注) 1. 調整額は、報告セグメントに帰属しない本社部門の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。